

令和2年 第18回委員会会議録

1 開催年月日 令和2年10月20日（火）

2 開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前11時15分

3 場 所 福岡市選挙管理委員室

4 出席委員 津田委員長，濱田委員長職務代理者，三原委員，石井委員

5 事務局職員 事務局長，選挙課長，庶務係長，選挙係長，書記2名

6 傍聴者 なし

7 議 題

（1）報告事項

① 選挙人名簿から抹消する者の数について

② 在外選挙人名簿登録者数について

③ 東区・博多区・中央区・南区選挙管理委員会の委員長及び委員長職務代理者について

④ 令和元年度福岡市選挙管理委員会の決算について

（2）その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・令和2年11月5日（木）午前10時30分

・令和2年11月20日（金）午前10時30分

・令和2年12月9日（水）午前10時30分

8 議事次第（○：出席委員，▲：事務局職員）

（1）報告事項

報告事項①から④について，事務局から資料の説明・報告を行った。

【質疑等】

○ 選挙の執行経費について，前回から増えた要素は何があるのか。

▲ 参議院議員通常選挙については，郵便料金の改定による入場整理券の郵送料金の増や選挙公報の配布やポスター掲示場の設置に係る委託料の増，なみきスクエアとさざんぴあ博多への期日前投票所設置に係る費用の増等がある。

統一地方選挙についても増加した理由は同様であるが，市議会議員選挙については，加えて立候補者が前回より増えたことや，選挙運動用ビラの頒布が可能となったことによる選挙公営負担金の増等によるものがある。

○ 昨年度は選挙が多かったが、その割には啓発費が少ないと思う。

また、決算議会において、コロナウイルス対策に係る特別定額給付金等の委託事業について取り上げられ、業者に委託しているにもかかわらず、市の職員を事務に従事させていることについて議論がなされている。このことについては、予算の執行が適切であったのか疑問に感じている。

前回の選挙管理委員会でも提案した新有権者へのバースデーカードを郵送する場合、年間の新有権者は1万5千人程度であり、1人分の郵送料や紙代が70～80円程度だと想定とすると、必要な予算は約100万円である。前回の国政選挙からの期間を考慮して新有権者の数が3万人程度になると考えても、約200万円に対応できると思う。思い切った予算措置が必要だと思う。

衆議院の解散の場合は準備期間が短いですが、事前に準備しておけば対応は可能だと思う。

▲ 若者向けの啓発としては、今年度から「はたちのつどい」の案内はがきの中に、選挙啓発のページを設けて、投票を呼びかけることとしている。

○ その取組みは良いが、他の自治体の実施状況を参考に、選挙に特化した取組みをしてはどうかと思う。

○ 決算で不用額が発生しているので、啓発費として活用してはどうか。

「はたちのつどい」の案内はがきでの啓発は一步前進とは思いますが、選管として、特化した案内を出した方が良いと思う。

(2) その他

・次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。